

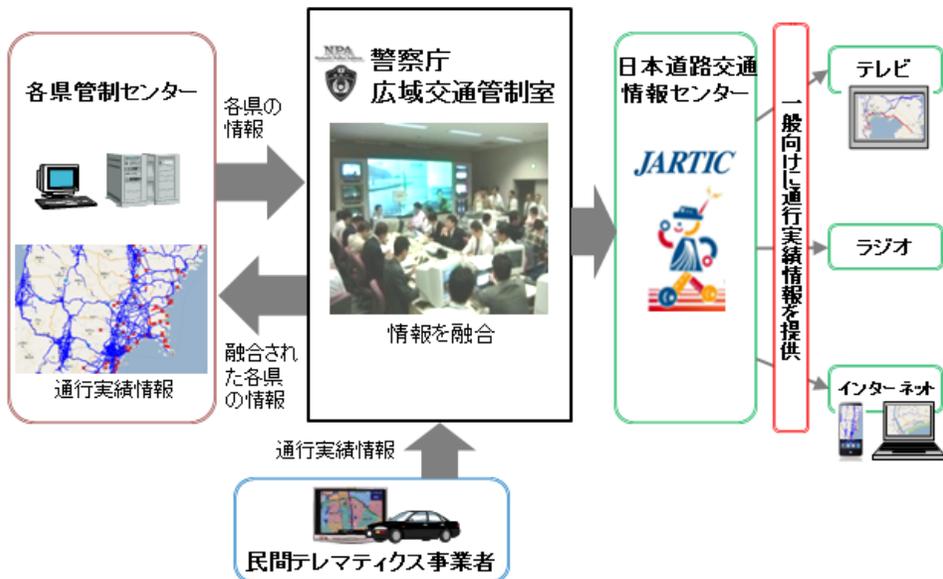
高度交通システムの実現に向けた施策の推進

高度交通システムの実現、普及のためには情報通信技術を活用した効率的かつ効果的な環境整備を行っていくことが不可欠。

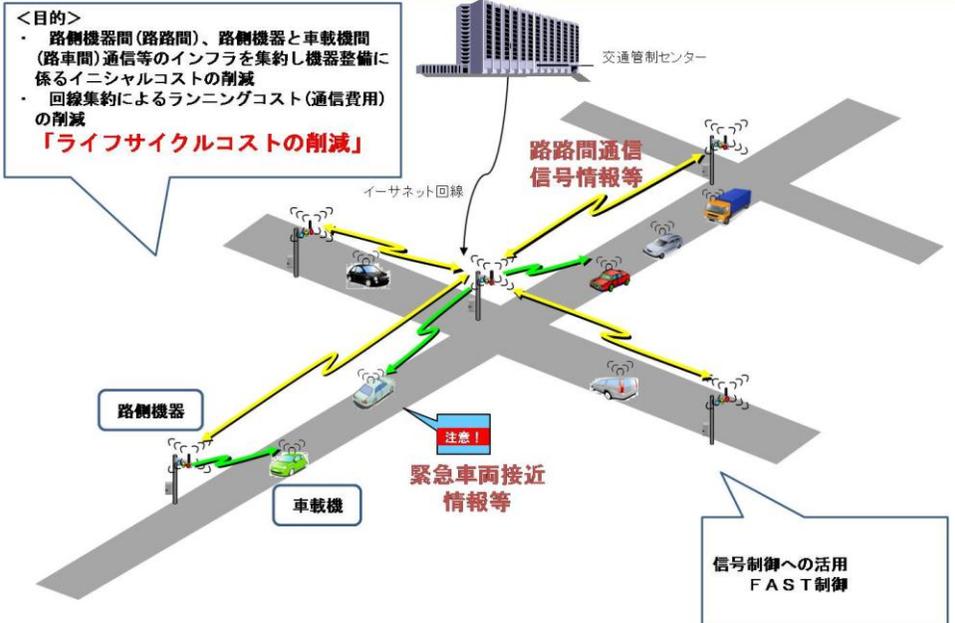
このため、平成26年度の取組として、警察では、交通の安全と円滑の確保等を目的とし、信号制御の高度化及び交通情報サービス環境の整備を推進。

フロープ情報の活用による災害時の交通情報サービス環境の整備

- ・警察の情報と民間の情報の融合により、交通状況を緻密に把握
- ・融合した情報を迅速な警察活動に活かすとともに、国民に迅速に提供



電波を活用した端末制御通信による信号制御の高度化に関するモデル事業



警察庁における平成26年度科学技術関係予算について

科学警察研究所における犯罪科学に関する総合的研究の推進等

研究・実験の実施(経常研究・特別研究経費)

科学捜査に資する鑑定・検査等の研究・実験
犯罪・非行、交通事故の未然防止の研究・実験

研修の実施(研修経費)

警察職員に対する鑑定・検査等の専門事項の研修

社会
実装

第一線の警察活動への適用等

捜査の支援

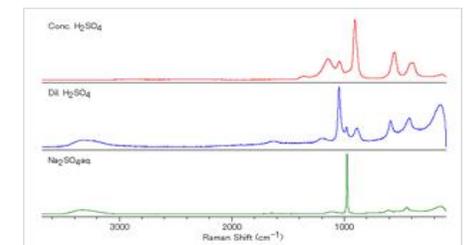
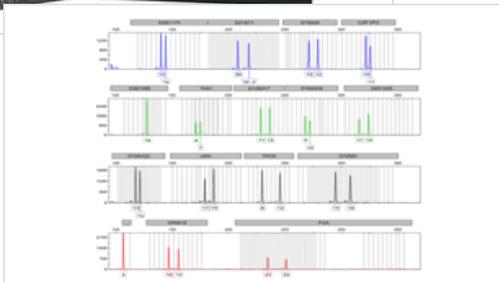
犯罪や事故の未然防止

鑑定・検査の実施(鑑定経費)

DNA型鑑定の高度化に資する研究等

研 修

鑑 定 ・ 検 査



※ 赤字箇所は科学警察研究所において実施しているもの。